

令和4年度 地域課題対応事業評価シート(高津区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
58	05	25	26	50	05	区の新たな課題即応事業(医療相談室整備事業)			
担当			所属コード		所属名			担当者	連絡先
			675250		地域みまもり支援センター高齡・障害課			牛若	64622

事業の概要									
事業の概要		障害者・障害児の相談件数増加に伴う相談スペース不足の解消及び秘密保持に配慮した打合せ、相談スペースを確保するため、医療相談室にミーティング用備品一式(机・椅子)等を設置し、相談環境の整備を行う。							
実施期間		事業開始年度 令和4年度	事業終了年度 令和4年度	予算中事業	区の新たな課題即応事業費				
地域の課題と現状		高津区内の障害者・障害児数の増加、また障害児のサービス利用計画作成数増加に伴い、高齡・障害課の取り扱う相談件数及び相談対応時間は、ともに増加傾向にある。							
予決算 (単位:千円)	年度	R04年度		R05年度		R06年度		R07年度	
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
	事業費	328	328						
財源内訳	国庫支出金								
	市債								
	その他特財 一般財源	328	328						

計画 (Plan)	
事業の目的	医療相談室を相談対応やカンファレンスに適した環境に整える。
今年度の事業の取組内容	医療相談室にミーティング用備品一式(机・椅子)等を設置する。

実施結果 (Do)								
上記取組内容に対する達成度	3 1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った							
取組内容の実績等	医療相談室にミーティング用備品一式(机・椅子)等を設置した。							
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指標		R04年度	R05年度	R06年度	R07年度	単位
	1	目標						
		実績						
	2	目標						
		実績						
	3	目標						
		実績						
	4	目標						
実績								

評価 (Check)			
事業を取り巻く社会環境の変化	障害者・障害児の相談など各種相談件数の増加に伴い、相談者の待ち時間短縮、相談内容の秘密保持にかかるニーズに対応していく必要がある。		
事業の見直し・改善内容	<input type="checkbox"/> 実施 (直近) 年度 <input type="checkbox"/> 今後実施(年度から)		
	具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載		
評価項目		評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	障害者・障害児の相談など各種相談件数の増加に伴い、相談対応スペース確保のニーズは高いと考えられる。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	ミーティング用備品一式(机・椅子)等の設置により、相談対応やカンファレンスに適した環境が整備できた。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性がある。	a. 可能性はない b. 可能性はある	a
	評価の理由	単年度事業のため。	

改善 (Action)		
今後の事業の方向性	方向性区分	方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	III
実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性 医療相談室にミーティング用備品一式(机・椅子)等を設置したことにより、相談対応やカンファレンスに適した環境に整えることができた。これにより、当面の間は相談体制を維持することが可能であることから、令和4年度をもって事業を終了することとする。		

令和4年度 地域課題対応事業評価シート(高津区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
58	05	25	26	50	05	区の新たな課題即応事業(ミュージックインフォメーション掲示板補修事業)			
担当			所属コード		所属名			担当者	連絡先
			671700		まちづくり推進部地域振興課			山岸	64355

事業の概要									
事業の概要		本市主催の音楽事業や音楽のまち・かわさきの共催及び後援事業の広報のための掲示板の維持・管理							
実施期間		事業開始年度	事業終了年度	予算中事業		区の新たな課題即応事業			
		—	—						
地域の課題と現状		川崎西ロータリークラブから平成17年に同クラブの40周年記念として広報掲示板「Music Information TAKATSU」が寄贈され、キラリデッキに設置し、音楽事業のポスターやチラシを掲示している。							
予決算 (単位:千円)	年度	R04年度		R05年度		R06年度		R07年度	
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
	事業費	97		97					
		財源内訳	国庫支出金						
市債									
その他特財 一般財源	97		97						

計画 (Plan)	
事業の目的	本市主催の音楽事業や音楽のまち・かわさきの共催及び後援事業の広報のための掲示板の維持・管理
今年度の事業の取組内容	市主催の音楽事業、市内行政施設主催音楽イベント及び市の後援・共催する音楽イベント等、まち・かわさき関連のポスターやチラシ等を掲示し広報を行う。

実施結果 (Do)										
上記取組内容に対する達成度		3		1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った						
取組内容の実績等		通りかかった市民に掲示板のパネルを破壊されたため、パネルの交換を行った。蹴られたことによる破損のため、新しいパネルはアクリル板よりも強度の高いポリカーボネート板を採用した。また、当該事件については、高津警察に相談の上、被害届を提出し、犯人が特定された場合は求償する。								
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指標				R04年度	R05年度	R06年度	R07年度	単位
	1		目標							
			実績							
	2		目標							
			実績							
	3		目標							
			実績							
	4		目標							
実績										

評価 (Check)				
事業を取り巻く社会環境の変化		設置場所であるキラリデッキは、常に入通りが多く、たくさんの人の目に留まるため、音楽のまち・かわさきや高津区音楽のまち推進事業の広報のための重要な掲示板として、維持・管理を継続する必要がある。		
事業の見直し・改善内容		<input type="checkbox"/> 実施 (直近) 年度 <input type="checkbox"/> 今後実施(年度から)		
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載				
評価項目			評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている		a
	評価の理由	当該掲示板にポスターを張りたいという問い合わせが年に数件あるため、市民だけでなく音楽関係者からのニーズもある。		
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない		a
	評価の理由	パネル交換後、ポスターやチラシの掲示を再開し、区民への音楽事業の情報発信に寄与している。		
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性がある。	a. 可能性はない b. 可能性はある		a
	評価の理由	再発防止策として、壊れにくいパネルを採用した。		

改善 (Action)			
今後の事業の方向性	方向性区分	方向性	実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	III	引き続き、音楽事業の広報のためとして掲示板を活用する。

令和4年度 地域課題対応事業評価シート(高津区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小	区の新たな課題即応事業(区役所庁舎内保育環境整備事業)			
58	05	25	26	50	05				
担当			所属コード		所属名		担当者	連絡先	
			675130		地域みまもり支援センター 地域支援課		高柳	64831	

事業の概要										
事業の概要		乳幼児連れの来庁者が安心かつ快適に庁舎を利用するため、庁舎内ベビーベッドや授乳室カーテンを新たなものに入れ替える。								
実施期間		事業開始年度	事業終了年度	予算中事業		区の新たな課題即応事業				
		—	—							
地域の課題と現状		区役所庁舎内のベビーベッドは、設置から30年以上経過し、老朽化や大型であることから使い勝手が良くなかった。また保健所の各授乳室も、カーテンの老朽化により、薄暗く清潔感に欠ける印象があった。そこで、乳幼児連れの来朝者が安心かつ快適におむつ替えや授乳をできる環境整備のため、新たなベビーベッドやカーテンの設置の必要がある。								
予決算 (単位:千円)	年度	R04年度		R05年度		R06年度		R07年度		
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	
	事業費	561		561						
		財源内訳	国庫支出金							
		市債								
		その他特財								
		一般財源	561	561						

計画 (Plan)	
事業の目的	乳幼児連れの来庁者が安心かつ快適にオムツ替えや授乳ができる環境を整える。
今年度の事業の取組内容	新たなベビーベッド2台、オムツ交換台5台、授乳室内のカーテンを購入し、新たに庁舎内に設置する。

実施結果 (Do)										
上記取組内容に対する達成度		3		1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり		4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った				
取組内容の実績等		乳幼児健診や育児相談等の子育て支援事業の時に使用 乳幼児連れの来庁者が自由に授乳室を利用できている。								
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指標				R04年度	R05年度	R06年度	R07年度	単位
	1	目標								
		実績								
	2	目標								
		実績								
	3	目標								
実績										
4	目標									
	実績									

評価 (Check)			
事業を取り巻く社会環境の変化		高津区は出生数や子育て世帯が多く、庁舎を乳幼児連れて利用する区民も多いため、安全かつ快適な庁舎環境の整備が今後も必要である。	
事業の見直し・改善内容		<input checked="" type="checkbox"/> 実施 (直近) 令和4年度 <input type="checkbox"/> 今後実施(年度から)	
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載			
評価項目		評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	ベビーベッドやオムツ交換台、授乳室が安心かつ快適であることは、区民サービスの向上に寄与する。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	乳幼児連れの来庁者が新たなベビーベッドやオムツ交換台、授乳室を利用している。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性がある。	a. 可能性はない b. 可能性はある	a
	評価の理由	単年度事業のため。	

改善 (Action)			
今後の事業の方向性	方向性区分	方向性	実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	III	経年劣化や破損、汚損が生じてくるため、今後も備品を適正に管理し、必要に応じて、乳幼児連れの来庁者に安全かつ快適な環境整備のため、入れ替えを検討する。

令和4年度 地域課題対応事業評価シート(高津区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
58	05	25	26	50	05	区の新たな課題即応事業(地域みまもり支援センター内相談室整備事業)			
担当			所属コード		所属名		担当者	連絡先	
			675130		地域みまもり支援センター 地域支援課		藤崎	64838	

事業の概要										
事業の概要		オンライン会議の増加、区役所会議室の稼働率のアップにより、会議室としての機能を整備する。								
実施期間		事業開始年度		事業終了年度		予算中事業		区の新たな課題即応事業		
		—		—						
地域の課題と現状		オンライン会議の増加、区役所内会議室の稼働率の向上により、会議室の確保が難しい状況があり、新たに机や椅子を設置し、収納できるスペースを確保することで、相談室が会議室として有効活用する。								
予決算 (単位:千円)	年度	R04年度		R05年度		R06年度		R07年度		
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	
	事業費	652	652							
財源内訳	国庫支出金									
	市債									
	その他特財 一般財源	652	652							

計画 (Plan)	
事業の目的	地域みまもり支援センター内の相談室の有効活用を行う。
今年度の事業の取組内容	会議用机、椅子の購入と格納スペースの工事を行う。

実施結果 (Do)										
上記取組内容に対する達成度		3		1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った						
取組内容の実績等		要保護児童対策地域協議会連携調整会議等の事業時に使用								
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指標				R04年度	R05年度	R06年度	R07年度	単位
	1				目標					
					実績					
	2				目標					
					実績					
	3				目標					
					実績					
	4				目標					
実績										

評価 (Check)										
事業を取り巻く社会環境の変化		オンライン会議の増加、区役所内会議室の稼働率の向上により、会議室の確保が難しい状況があり相談室の空き時間を有効活用する。								
事業の見直し・改善内容		<input checked="" type="checkbox"/> 実施 (直近) 令和4年度 <input type="checkbox"/> 今後実施(年度から)								
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載										
評価項目							評価			
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか						a. 薄れていない b. 薄れている	a		
	評価の理由		オンライン会議の増加等、区役所会議室の稼働が高いため相談室の空き時間利用が必要。							
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか						a. 上がっている b. 上がっていない	a		
	評価の理由		相談室の空き時間を利用して、必要な会議を実施することができた。							
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性がある。						a. 可能性はない b. 可能性はある	a		
	評価の理由		単年度事業のため。							

改善 (Action)			
今後の事業の方向性	方向性区分	方向性	実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	III	経年劣化や破損、汚損が生じてきます。今後も備品を適正に管理し、相談室の環境整備を行う。